

## 待望の開幕戦は予選14位も、悲運のクラッシュにより出走できず

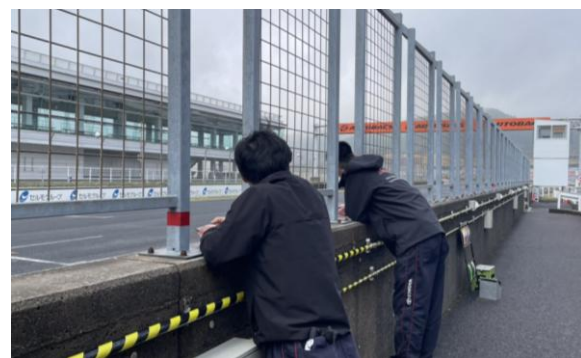
T2 FACTORYは「GR86/BRZ Cup」に参戦しております。本レースの前身である「86/BRZ Race」を含み2019年のチーム開設時より活動を継続しており、専属チーフエンジニアの大橋孝行が組み上げた56号車「栃木トヨタ T2FACTORY BS GR86」に、社員ドライバーの鶴賀義幸が搭乗し参戦しています。加えて、毎戦ごとに各店舗からエンジニア2人がメカニックとして帯同し、活動内で整備技術を磨いています。

4月5日(日)に大分県のオートポリスで今季の開幕戦が行われました。今大会は、日曜日の午前中にグリッド順を決める予選と、午後に決勝レースが行われるワンデイ開催でした。木曜日から練習走行を開始し、金曜日の走行までに良い調整ができていたため期待がかけられました。前日土曜日に予定されていた専有走行は、横殴りの雨と濃霧によって走行ができませんでした。迎えた公式予選は、朝まで降っていた雨が乾かず、かすかにウエットの路面で行われました。15分間のうち、路面の回復を少しでも長く待とうと、ほとんどのチームは残り5分までピットで待機しました。当チームは残り7分からタイムアタックを行い、2分7秒395とまずまずのタイムでしたが、ピットへ戻る途中、残り5分を切ったタイミングでコースインしアタック走行をしていた車両と、最終コーナー手前で交錯し激しくクラッシュを喫してしまいました。予選順位となる記録は残したものの、車両は修復不可能となり、そのまま今大会を終えることとなりました。



今回の活動に参加したエンジニアは、ひとりは一  
経験豊富なベテランで新人教育も担当する一  
方で、もうひとりはその教育を受けて店舗へ配属  
が決まったばかりの新人エンジニアでした。この活  
動に参加することを一つの目標としていて、ずっと  
楽しみにしていたことを伝えてくれました。新人の  
ためややとどししさはあるものの、作業に真剣に  
向き合う姿が印象的でした。言葉を選びながら  
自分の考えを丁寧に伝えようしたり、次々と直  
面する課題に対しての前向きな姿勢が感じられ  
たりと、発展途上ながら限られた時間で着実に  
力をつけていることが伝わってきて、充実した研  
修となりました。

次戦に向けて、まずは大きく破損してしまった  
車両の復旧が最優先ですが、決勝レースを最  
後まで戦い走り抜く姿をお見せできるよう、改善  
点を追求し今後に活かしてまいります。多くのご  
支援・サポートをいただきありがとうございました。



### ドライバー鶴賀のコメント



今季も GR86/BRZ Cup で活動させていただき、さらに開幕戦から戦えるということで、深い感謝とともに走らせていただきました。いつも九州では何かしらトラブルが起こるのですが、今回は予選で自分の判断ミスがあり全てを台無しにしてしまいました。ひとつ間違えば相手選手に大きな怪我をさせていたかもしれません。その他多くのチームの予選順位にも影響を与えてしまったので、大変申し訳なく思っています。レース週末をしっかりとやり遂げる力が足りないことが明確になったので、エンジニアの皆さんの頑張りに報いるためにも、よく反省して次に取り組みます。今大会もたくさんのご声援や温かいメッセージをいただきありがとうございました。今後とも応援のほどよろしく願いいたします。